

2022/05/11

日本中東学会第 38 回年次大会
ハイフレックス発表（対面＋オンライン）部会（第 5～第 7 部会）・司会者向
けガイド

- ・発表は Zoom ミーティングによって行います。会場では、発表者・司会者ともにご自身の PC から Zoom ミーティングに入ってください、発表・質疑を行います。
- ・会場ではその Zoom の画面をスクリーンに投影しますので、来場の参加者はそれを見ながら発表を聞くことになります。オンライン参加者は、通常通り Zoom ミーティングにアクセスして視聴します。
- ・ミーティングには「第 38 回日本中東学会年次大会ポータルサイト」
(http://www.james1985.org/members_area/auth-annual/38th/index.html)
上の、「オンラインミーティング特設ページ」
(http://www.james1985.org/members_area/authannual/38th/auth/auth-meeting.html)
にアクセスします。アクセス時に ID とパスワードが求められますが、事前に大会実行委員会よりメールで配信した内容をご入力ください。
- ・発表・司会・質疑は必ず会場備え付けのマイクを通して行ってください（マイクを使わないと、オンライン参加者には声が聞こえません）。また、ご自身の PC のマイクとスピーカーは必ずオフにしてください（オンのままですとハウリングを起こします）。

0, 会場への到着

- ・司会を担当する発表の開始 10 分前には、会場にお越しくください、第 5 部会は 127 教室、第 6 部会は 128 教室（いずれも一階）、第 7 部会は 325 教室（三階）になります。
- ・各会場には実行委員が常駐しておりますので、来場されましたらお声がけください。

1, ミーティングへの入室

- ・会場に着きましたら、ご自身の PC を立ち上げ、ポータルサイトの「オンラインミーティング特設ページ」より、部会のミーティングルームに入室してください。
- ・入室されましたら、会場にいる実行委員に、入室した旨お伝えください。実行委員が操作するホストより、共同ホストに指定します。

2, ミーティング開始

- ・ミーティングの開始とともに、司会者、発表者はビデオをオンにして顔見せをします。
- ・1 つの研究発表は 40 分間ですが、うち発表時間は 30 分、残りの時間で質疑応答を想定しています。次の発表の準備や会場の参加者の移動の時間が必要ですので、終了時間は厳

守ってください。

- ・時間の管理は、司会にお任せいたします。発表時間がなくなった場合には発表者にそれをメモや口頭で伝え、終了するように促してください。

3, 質疑応答

- ・質問・コメントを受けつける際には、会場の聴衆には挙手を求めて当ててください。質問と返答は、全て会場備え付けのマイクを通して行ってください。
- ・オンライン参加者の質問・コメントを求める際には、Zoomの「手を上げる」ボタンをお使いください。共同ホストになっていますので、挙手した参加者が上位に表示されます。※ウィンドウ下部のツールメニューより「リアクション」ボタンを押下すると絵文字アイコンなどが展開されます。そのうち「👉手を上げる」をクリックすると挙手している状態になります。Zoomに不慣れな参加者のために、この機能について口頭でご説明ください。



- ・オンライン参加者の音声も、会場備え付けのスピーカーで聞くことができます。
- ・声を出せない環境で視聴している参加者もおりますので、チャットによる質問・コメントも求めてください。チャットに上がった質問・コメントは司会者が読み上げてください。
- ・なお時間内に質問ができなかった質問者は別途、年次大会ポータルサイト内「5/15 個人研究発表・企画セッション」ページ内の質疑応答フォームから質問内容を送信することもできますので、終了時にはその旨をアナウンスしてください。

4, 終了

- ・時間になりましたら終了してください。研究発表の終了を参加者に伝え、次の発表の準備にかかります。次の発表も司会をご担当される場合は、そのままお残りください。そうでなければご退室ください。
- ※午前中最後の発表（第3発表）の司会を担当された方は、①午後は13:00から再開すること、②会場で昼食をとる場合は、感染予防のため他の人との距離を空け、会話をしながら食事をすることは控えるよう、アナウンスしてください。